

# 金星の変身！

観察期間：2005年11月1日～2006年1月11日

ハートピア安八天文台

金星は、公転軌道が地球の公転軌道よりも内側にあって、常に太陽の方向に見える惑星です。そのため、明け方や夕方の限られた時間にしか観察できません。また、金星は地球や太陽との位置関係により満ち欠けし、その見かけの大きさも変化します。

ここに、2005年11月1日～2006年1月11日までに観察した金星の様子をまとめてみました。こんなに形や大きさが変わるとはビックリですね。(都合上、地球と金星の位置を相対的に表しました。)

